

器 0 5 麻酔器並びに麻酔器用呼吸囊及びガス吸収かん
*再使用可能な麻酔用呼吸回路 *37021000

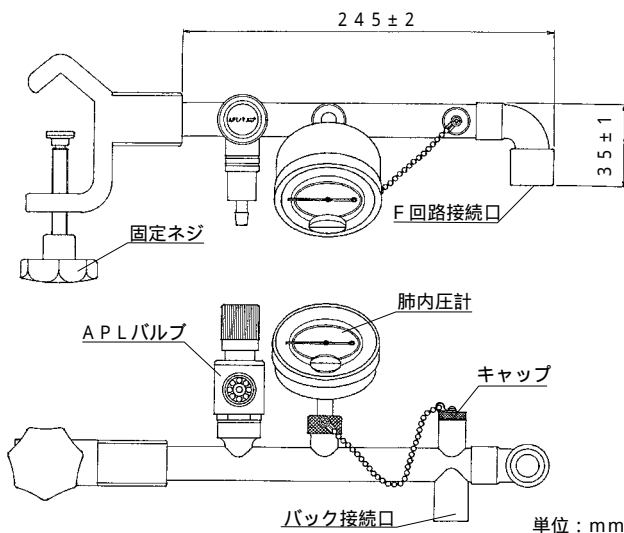
F 呼吸回路ホルダー

【禁忌・禁止】

- 併用禁忌
本品をメラ麻酔用呼吸回路(型式: F 回路)以外と併用しないこと。
[性能・安全性を保証できない]

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名称



2. 定格

- 1) 寸法・質量: 本書【品目仕様等】を参照。
- 2) 肺内圧力計測定範囲: $-10 \sim 80 \text{ cmH}_2\text{O}$
- 3) 調整範囲: $10 \sim 30 \text{ cmH}_2\text{O}$ (エアー: $30\text{L}/\text{min}$ 時)

3. 作動・動作原理

- 1) 本品とメラ麻酔用呼吸回路 (F 回路) との組合せで、「ベイン回路」を構成する。
- 2) 分時換気量より大きな新鮮ガス流量を流して患者呼吸を充分に洗い流しながら、呼吸回路に貯えられた新鮮ガスを一回換気量として患者肺の換気を行う。

【使用目的、効能又は効果】

1. 使用目的

少児麻酔領域での全身麻酔及び呼吸管理を行う際、呼吸バッグからの圧力が患児の肺にかかり過ぎないように、安全のため医師が必要に応じて圧力を抜くための APL バルブ付き回路ホルダーである。

* 【品目仕様等】

1. 本体

- 1) 本体寸法: $350(\text{W}) \times 160(\text{H}) \times 150(\text{D})\text{mm}$ (最突出部)
- 2) 本体重量: 1.4kg
- 3) 肺内圧力計測定範囲: $-10 \sim 80 \text{ cmH}_2\text{O}$
- 4) APL バルブ: 調整範囲 $10 \sim 30\text{cmH}_2\text{O}$ (エアー $30\text{L}/\text{min}$ 時)

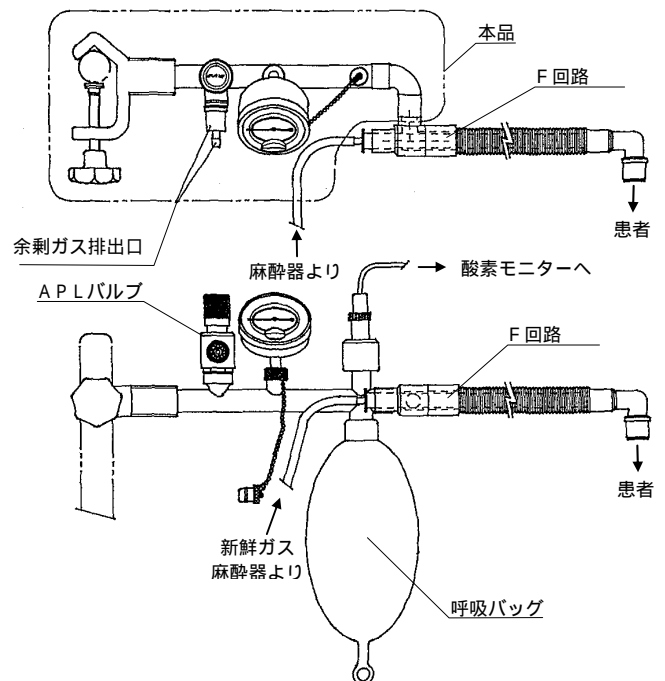
【操作方法又は使用方法等】

関連注意 接続する F 回路、酸素モニタは、単品医療機器なのでそれぞれの添付文書も参照すること。

1. 機器の組立・設置

- 関連注意** ● 水のかからない場所、気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。

- 1) 本品を麻酔器のアブソーバ支持棒等に固定し、F 回路の呼吸口と本体部分を図のように接続する。
- 2) 吸気口に麻酔器からの新鮮ガスチューブを接続する。
- 3) 酸素モニタ接続口に酸素センサを接続する。
- 4) 呼吸バッグ接続口に適切な容量のバッグを接続する。



2. 操作方法

- 1) 十分な新鮮ガス流量を流して、呼吸バッグを押しながら本品の肺内圧計を見て APL バルブを調節し、患児の肺にかかる圧をコントロールする。
- 2) APL バルブの調節により余剰ガス排出口から排出される余剰ガスによる手術室の汚染は、余剰ガス排出口に余剰ガス排出システム(本品には含んでいない)を接続することにより防止できる。

【使用上の注意】

- 関連注意** ● 酸素モニタに関しては、単品医療機器なのでそれぞれの添付文書を参照すること。
● 使用する麻酔ガス・揮発性麻酔薬等の添付文書も参照すること。

1. 新鮮ガスの流量及び酸素濃度を適切に設定すること。
[流量が不足すると CO_2 の再呼吸が多くなり、酸素濃度が低いと、吸気酸素濃度も低下する]
2. 使用後は、本品を清拭又は消毒を行い再使用に備えること。
[感染防止]

*3. 本品使用後の廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管環境

- 1) 水のかからない場所に保管すること。
- 2) 気圧・温度・湿度・風通し・日光・ほこり・塩分・イオウ分等を含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのないこと。
- 3) 傾斜・振動・衝撃等(運搬時を含む)から影響を受けないこと。
- 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所は避けること。

【包装】

- 1 セット / 1 包装箱に収納。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

*製造販売業者及び製造業者：

泉工医科工業株式会社

埼玉県春日部市浜川戸 2 - 1 1 - 1

*問い合わせ先：

本社商品部

TEL.03-3812-3254 FAX.03-3815-7011